

第2学年A組 英語科学習指導案

1 単元名 Stage Activity 1 A Message to Myself in the Future

2 単元の目標

- (1) 未来形・接続詞・不定詞を使った文の形・意味・用法を理解することができる。 【知識及び技能】
- (2) 自分の好きなことや得意なこと、向いていると思う仕事について伝え合って整理し、自分に合う仕事や生き方について書くことができる。 【思考力・判断力・表現力等】
- (3) ・友達に自分に合う仕事や生き方について理由等を付け加えながら書こうとしている。
・友達が興味をもっていることに対してたずねたりして、将来の職業などを友達にアドバイスをしようとしていたりしている。 【学びに向かう力・人間性等】

3 単元と生徒

(1) 単元について

この Stage Activity は、Unit 3 までの学習の成果を確認するためのまとめの単元として設けられている。この単元までに学習した未来形、接続詞、不定詞の言語材料や言語活動での体験を生かして、「聞く」「読む」「話す」「書く」の領域を統合する活動を行うのに適した単元である。特に中心となる活動は、「やり取り」または「発表」、「書く」活動である。

この単元では、自分の考えを発信するだけでなく、友達の発表内容を理解したり、質疑応答を行ったり、アドバイスをしたりといった活動を行いながら、即興でやり取りができる力を身に付けさせていくことができると考えられる。

言語材料の活用という点から考えると、①未来形 will 「～しているでしょう、～になっているでしょう」を使ってアドバイスをしたり、将来のことを表現する。②接続詞 because 「～なので」を使って理由や根拠を説明し、考えを裏付けしたり、補強する。if を使って「もしも～だったら」と仮定や条件を付けたり、that を使って「～と考える」、「～と期待する」といったことを述べる。③不定詞を使って「～することをしたい」や「～するために」、「～するべき」といった意思や考えを表現する。以上の既習の言語材料を活用して表現するのに適した単元である。

(2) 生徒について

(3) 指導の構想について

これまでの授業での「話す」活動においては「発表」が中心で、「やり取り」を通して新たな情報を得たり、疑問に思ったことをたずねたりといった機会が少なかった。不定詞や接続詞を使って、自分の将来や夢について、理由や目的を付け加えながらより具体的に表現できることを学ばせたい。授業は、インプット（職業名、あいづちや質問、アドバイスの表現など）→情報を伝え合う（質問する）→得た情報をもとにアドバイスをするという流れで進めたい。インプットや情報を伝え合う場面では、適切な表現が出てこないことが予想されるため、タブレットを発表補助ツールとして活用させたい。また、グループでのやり取りの過程をみとるため、タブレットを記録ツールとしても活用し、評価の資料としたい。

グループでの活動を行うために、ルールに沿って話し合いを進めるなど学習規律も身に付ける機会としたい。普段の授業では、ペアでの活動が多くペア間で教え合いながら進めている姿が見られたが、グループの活動の経験が少なく、グループの活動にうまく参加できない生徒をよりきめ細かく支援するために、本時はクラスを2つに分けて、それぞれの学習活動を行いたい。

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 未来形・接続詞・不定詞を使って自分の考えを伝え合う技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の好きなことや得意なこと、向いていると思う仕事について伝え合って整理し、自分に合う仕事や生き方について書いている。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達が興味をもっていることに対してたずねたり、将来の職業などを友達にアドバイスをしようとしていたりしている。 自分の夢や将来のことについて友達のアドバイスを参考にしながら書こうとしている。

5 単元の指導計画と評価（総時数 3時間 本時 2/3）

	学習内容	具体的な評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	自分の好きなことや得意なことをリストアップする。	<ul style="list-style-type: none"> 自分の夢や希望を表現する言葉、自分の特徴などを表す言葉を書いている。 		<ul style="list-style-type: none"> ○自分の将来のことや夢について考えるために、自分のことを分析しながら、好きなことや得意なことをキーワードで表そうとしている。（ワークシート）
2	自分のことを伝えたり、友達に対してアドバイスを伝えたりする。（本時）	<ul style="list-style-type: none"> ・友達へのアドバイスに理由を付け足して言う話型を活用している。 		<ul style="list-style-type: none"> ○友達にその友達のよさや向いていると思う仕事などについて考えてもらえるように、キーワードに対し質問をしたり、アドバイスをしたりしている。（活動の観察・ワークシート、録画）
3	友達のアドバイスも参考にして「10年後の自分へのメッセージ」を書く。		<ul style="list-style-type: none"> ○未来形・接続詞・不定詞を使って自分の考えを伝える英文を書いている。（レポート） 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分に合う仕事や生き方について具体的に書くために、友達のアドバイスを参考にして、書こうとしている。（レポート）

○：評定に用いる評価

6 本時の計画

T1

(1)ねらい

友達が興味をもっていることに対してたずねたり、将来の職業などを友達にアドバイスをしようとしたりして
いる。 【主体的に学習に取り組む態度】

(2)学習過程 (本時2/3)

過程	学 習 活 動 学習課題 学び合い	時間	教師の指導上の留意点と評価 学び合いを充実させるための主な支援	評価
導入 10	1 あいさつをする。 2 友達へのアドバイスに使える職業名を確認する。 3 めあてと授業の流れを確認する。	2 5 3	<ul style="list-style-type: none"> 絵のイメージと単語を結び付けさせながら、対話に使う職業の絵を提示する。 授業の進みの段階と時間の目安がつかめるように黒板に提示する。 	
友達とのやりとりをしながら、友達に将来の職業を見つけてあげよう。 ゴール：将来の職業について、理由を付け加えて伝えることができる。				
展開 33	4 自分が好きなことや興味のあることについて伝えたり、たずねたりする。 (1) 発表する表現、あいづちをうつ表現、質問をする表現を確認する。 ・ I like to travel. ・ I'm good at talking with people. ・ My favorite subject is English. ・ I think so, too. / Really? ・ Why do you think so? ...etc. (2) グループで発表し、発表したことにあいづちをうったり、質問したりする。 5 友達にアドバイスをする。 (1) アドバイスに使う表現を確認する。 ・ I think you can be a good tour guide because you like traveling and talking with people. (2) 将来の職業を友達にアドバイスする。(やりとりの様子をタブレットに録画する。 (教室を移動する。) 6 アドバイスに対する感想を紹介する。 ・ I'm surprised to ... ・ I'm happy to ...	7 7 6 7 6	<ul style="list-style-type: none"> タブレットを使用して、繰り返し練習できるようにする。 あいづちをうったり、質問をしたりしているかを机間指導しながら確認する。 タブレットを活用して、話型を繰り返し練習できるようにする。 10年後の自分へのメッセージ(次時の活動)の資料としてアドバイスをメモするように伝える。 友達とのやり取りをしながら、理由や適性などを見つけ出し、そのことをわかりやすく友達にアドバイスを伝えようとしている。(活動の観察・ワークシート・録画) できるだけ多くの生徒が感想を発表できるように机間指導で確認する。 ALTの先生の感想やコメントを聞いて、あいづちの表現を使ってみるように促す。 	
終末 7	7 本時の学習を振り返る。	7	<ul style="list-style-type: none"> 振り返りの視点①「できたこと、わかったこと」④「次に取り組みたいこと」を提示する。 	

6 本時の計画

(1)ねらい

友達が興味をもっていることに対してたずねたり，将来の職業などを友達にアドバイスをしようとしたりして
いる。 【主体的に学習に取り組む態度】

(2)学習過程 (本時2/3)

過程	学 習 活 動 学習課題 学び合い	時間	教師の指導上の留意点と評価 学び合いを充実させるための主な支援	
			T2 (浅利)	ALT (Kurt)
導入 10	1 あいさつをする。	2		
	2 友達へのアドバイスに使える職業名を確認する。	5		<ul style="list-style-type: none"> 絵のイメージと単語を結び付けさせながら，対話に使う職業の絵をT2とクイズ形式で提示する。
	3 めあてと授業の流れを確認する。	3	<ul style="list-style-type: none"> 授業の進みの段階と時間の目安がつかめるように黒板に提示する。 	
友達とのやりとりをしながら，友達に将来の職業を見つけてあげよう。 ゴール：将来の職業について，理由を付け加えて伝えることができる。				
展開 33	4 自分が好きなことや興味のあることについて伝えたり，たずねたりする。	7	<ul style="list-style-type: none"> タブレットを使用し，繰り返し練習できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 電子黒板を活用して，繰り返し練習できるようにする。
	(3) 発表する表現，あいづちをうつ表現，質問をする表現を確認する。 <ul style="list-style-type: none"> • I like to travel. • I'm good at talking with people. • My favorite subject is English. • I think so, too. / Really? • Why do you think so? ...etc. 			
	(4) <u>グループで発表し，発表したことにあいづちをうったり，質問したりする。</u>	7	<ul style="list-style-type: none"> • あいづちや質問の表現が出てきやすいようにタブレットの使用を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> • あいづちをうったり，質問をしたりしているかを机間指導しながら確認する。
	5 友達にアドバイスをする。	6	友達とのやり取りをしながら，理由や適性などを見つけ出し，そのことをわかりやすく友達にアドバイスを伝えようとしている。(活動の観察・ワークシート・録画)	
	(3) アドバイスに使う表現を確認する。 <ul style="list-style-type: none"> • I think you can be a good tour guide because you like traveling and talking with people. 			
	(4) <u>将来の職業を友達にアドバイスする。(やりとりの様子をタブレットに録画する。)</u>	7	<ul style="list-style-type: none"> • 10年後の自分へのメッセージ(次時の活動)の資料としてアドバイスをメモするように伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> • あいづちや質問が出せない生徒に適切な表現をできるように助言する。
(教室を移動する。)				
6 アドバイスに対する感想を紹介する。 <ul style="list-style-type: none"> • I'm surprised to ... • I'm happy to ... 	6	<ul style="list-style-type: none"> • 感想を発表する生徒を意図的に指名する。 	<ul style="list-style-type: none"> • 生徒の感想や活動に対してコメントをする。 	
終末 7	7 本時の学習を振り返る。	7	<ul style="list-style-type: none"> • 振り返りの視点①「できたこと，わかったこと」④「次に取り組みたいこと」を提示する。 	